

2024 年度 第 1 回自治医科大学附属病院医療安全管理監査委員会 報告書

1 日時

2024 年 10 月 30 日（水）10:00～12:00 立体駐車場棟 大会議室

2 監査委員

委員長 尾澤 巖（地方独立行政法人栃木県立がんセンター 理事長）
副委員長 大槻 マミ太郎（自治医科大学 副学長）
委員 内山 聖（悠久崇徳学園 常務理事）
山口 育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長）
齊藤 正昭（自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全管理室長）

3 自治医科大学附属病院出席者

管理者	川合 謙介（病院長）
医療安全管理責任者・医薬品安全管理責任者	
	今井 靖（副病院長・医薬品・医療機器安全管理部門長）
医療の質向上・安全推進センター長	新保 昌久（病院長補佐）
診療録管理責任者	興梠 貴英（病院長補佐・医療情報部長）
医療機器安全管理責任者・代理	木村 好文（臨床工学部技師長）
医療放射線安全管理責任者・代理	寺島 洋一（画像診断部技師長）
感染制御部長	笹原 鉄平
病院事務部長	平寄 正俊

4 監査方法

特定機能病院としての医療安全管理体制等が機能しているか等、医療安全管理の取り組み状況等について、外部監査員による必要な是正措置を含む助言や指導を行う

5 監査実施項目

- 1 自治医科大学附属病院医療安全管理について
- 2 高難度新規医療技術の導入及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供について
- 3 医療放射線安全管理の現状について
- 4 手指衛生向上への取り組みについて
- 5 院内ラウンド

6 監査結果及び意見

- ・医療安全に係る体制ならびに業務の状況について監査を実施した結果、医療に係る安全管理が適正に実施されていたことを確認した。
- ・医療 DX の導入について、将来的には医療者も少なくなってくるため、医療の質と安全が担保される体制を作っていくことが大切であり、その際に DX を取り入れていくことも必要かと思う。
- ・地方の病院では、医師と看護師の連携・伝達不足、看護師の教育不足が起こっている。次回以降、医師・看護師の連携や看護師の教育体制の話を大きな議題でなくてよいのでお聞きしたい。
- ・ACP（Advance Care Planning）への取り組みに関して、今年度から一般の方も対象になったということで、次回以降成果をお聞きしたい。
- ・RRS（Rapid Response System）について、非常に良いシステムであるため、体制を整え、実効性を高めていただきたい。

以上